



Z I M A X

つないでいく。人とことばを未来へ。



for Value Subtitles 字幕制作

Z I M A X

テレビ局で仕事ができます。

この業界に入ろうと思ったきっかけはたった 1 行の、その魅力的なワンフレーズでした。

私自身、旅行会社勤務など、さまざまな経験をしてきましたが 2006 年に正式に入社して以来、気が付けばもう 15 年以上この会社で字幕を作り続けていました。それだけ字幕の作成というのは魅力的なお仕事でした。

世の中にはたくさんの仕事があります。毎日、何から何まで全く同じことの繰り返しというわけでももちろん、ありません。ただ字幕の仕事というのは例えばニュース 1 つ取っても毎日、目まぐるしく変わる世界情勢を取り扱います。何ひとつ、同じことなどありません。とても刺激にあふれています。バラエティー番組の事前字幕も同じで、字幕を作りながらも、くすつと笑ってしまうぐらい楽しみながら仕事ができるという大きな魅力があります。そんな素敵な字幕の存在も、最近では難聴者の方だけでなく健聴者の方にも広く認知されてきています。SNS でキャプチャーを取り上げられることも、しばしばあり「生放送の字幕なのに、リアルタイムで人が打ってるんだ！」と驚かれることも少なくありません。「字幕職人」と呼んでくださる方もいらっしゃいます。世の中には、リアルタイム入力の他にも AI や音声認識など、さまざまな字幕の形態がありますが自分の打った字幕が放送に載るといのは、なかなかできない経験です。そのやりがいは、ひとしおだと思います。

そんな現場をずっと見てきた私ですが、これからは、会社としてももっと字幕を必要としている方に字幕を届けていければと思っております。「字幕」と聞いて、映画字幕ではなく、テレビの字幕をまず思い浮かべるようなそんな身近な存在にしていけるよう、努力していきたいです。また、そんな字幕の仕事の楽しさをまだ知らない方たちにも伝えていけたらと思います。

代表取締役社長 **茂木 真利子**

字幕はさらに進化する。

みなさんは、テレビ放送で見られる「字幕」の存在をご存知ですか。

バラエティー・ドラマ・アニメ等、字幕が付いている番組はたくさんありますが、実は字幕は生放送の番組にも付いています。生放送の番組で流れる字幕は、パソコンが自動で認識したり、人の声を文字化して付ける場合もありますが、大多数はリアルタイムで人の手により入力され配信されています。そのリアルタイム字幕を制作するのが、私たちの主な仕事です。

テレビ番組の「字幕放送」が始まったのは、今から約 30 年前のこと。当時テレビ関係の仕事をしていた私は、縁あって字幕放送の仕事を任せられるようになりました。最初はひとりで作業をしていましたが年々字幕放送の需要が増え、平成 9 年に弊社を設立。当初は週に 1 本程度だった字幕放送の番組も、今では全体の約半数を占めるまになりました。

これほど字幕放送が普及したのには、字幕放送が社会福祉の一面も持っていることが影響しているからと言えるでしょう。聴覚に障がいがある方は、字幕放送によって番組の内容を知ることができます。画面の向こう側には、我々が入力した字幕放送を必要としている人が確実に存在している。これほど社会福祉に直結する仕事はあまりないのではないのでしょうか。障がいがある方にも、健聴者と同じ情報をお届けする、テレビ番組を楽しんでもらうということが、私たちのやりがいであり果たすべき義務だと思っています。

2018 年 12 月から始まった 4K・8K 放送には字幕放送が義務づけられているなど、字幕放送の需要はますます増えていくことが予想されています。今後ますます字幕が活躍する場を増やし、誰もが過ごしやすい社会づくりに貢献していけるような、未来ある企業へ一層成長していきたいと考えております。

会長 **高島 俊一**

Z I M A X

株式会社 ジマックス

東京都港区赤坂 6-14-2 赤坂倉橋ビル 1F/2F
TEL: 03-5545-4652 FAX: 03-5545-4653

<https://zimax.jp>

TV番組字幕制作

service WHAT WE DO



スタッフ紹介

字幕事業部 マネージャー

T. A

報道番組のような字幕は原則正しい日本語を求められますが、バラエティーやドラマなど番組ごとの性格によって時代に即した日本語も取り入れています。迷うことがあれば、スタッフ同士で相談し最善の答えを見つけた時の充足感は大きいです。事前字幕では、言葉以外のサウンドにも留意し、誰もが平等に情報を得られるような優しい字幕を目指しています。目覚ましのアラーム、犬の鳴き声、ピアノの旋律から人間の息遣い。それらは全て大切な情報と考えています。私は以前、某テーマパークに勤めていました。驚かれることもありますが、全くの別業種から飛び込んできたスタッフは多数いますので、ぜひ挑戦していただきたいです。

字幕事業部 アシスタントディレクター

M. M

私は生放送番組を担当していて、スポーツの中継番組などに多く携わっています。以前、聴覚に障がいを持つ友人と野球中継番組の字幕に関する話をしたときに「字幕で試合の雰囲気が分かって、より楽しめる」と言われたことがありました。字幕を制作する際には空気感を表現できるように言い回しを発話に近づけるなどの工夫や、細かな情報までフォローするための入念な下調べを行っています。そういったこだわりが見ている方に伝わっていると実感できたときはやりがいを感じますし、もっと分かりやすく充実した字幕を作れるよう頑張ろうと思えます。

字幕事業部 アシスタントディレクター

A. Y

主に事前字幕と呼ばれる収録済み番組の字幕制作に携わっています。現在はバラエティー番組の字幕制作が多く、音が聞こえる状態と同じように面白さが伝わる字幕作りを心がけています。また、当日に放送される番組がほとんどのため、限られた時間の中で効率的に制作が進められるように分担して作業を行っています。制作工程は大きく分けて4段階あり、会話や環境音を文字起こす入力作業、正しく読みやすい文章になっているかを確認する校正作業、字幕を表示させるタイミングや表示する色を決める専用ソフトを使用した作業などがあり、最後に映像と字幕を合わせて社内での試写を行い、より視聴者に伝わりやすくなるように最終チェックをしています。

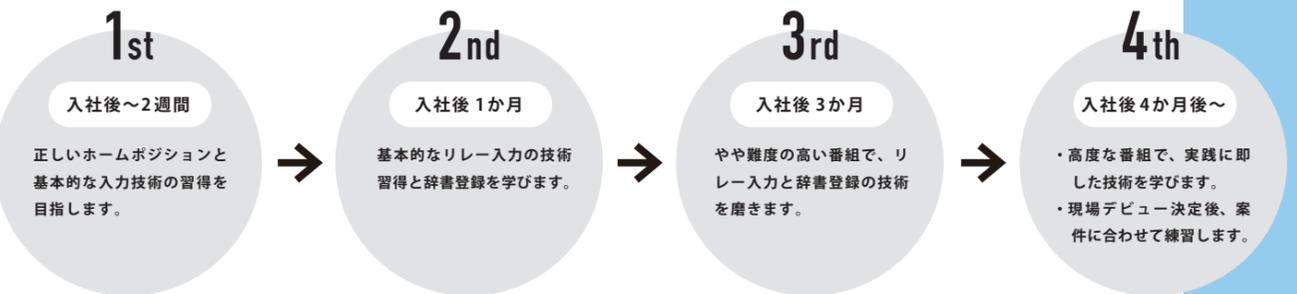
字幕事業部

E. I

生放送のテレビ番組でしゃべった言葉をリアルタイムで入力し字幕にする、いわゆる生字幕の仕事をしています。どうしたら見やすくわかりやすい字幕になるか。速く出すにはどうしたらいいか。答えは一つではなく、番組や話題、状況、話す人のキャラクターなどによってさまざまです。視聴者の方からの声を直接もらう機会はあまり多くはありませんが、高齢者施設や病院などで字幕がついているのを見かけると、自分の仕事が社会の役に立っていることを実感します。毎日新しい情報に触れることはとても刺激があり、また各局へ出向いて仕事をするので都内各地へ行けるという楽しみもあります。生放送なので緊張感がありますが、とてもやりがいのある仕事です。

字幕制作は特殊な専門職であり、ほとんどの人が未経験者であることから、ジマックスでは充実した研修システムを構築し、人材教育に努めています。研修の目安として、3～6か月の期間を要しますが、独自のカリキュラムと指導方法で、着実なスキルアップにつなげます。

入社後の研修スケジュール



TV番組用の字幕とは？

字幕というと、普段テレビで目にするスーパー（テロップ）を思い浮かべるかもしれませんがテレビ番組用の字幕とは、聴覚に障がいがある方や音声の聞き取りにくくなった高齢者のために音声の情報を画面上に表示する字幕のことです。地上デジタル放送では、テレビリモコンの字幕ボタンを押せば視聴可能となりました。ワンセグ放送を受信可能な携帯電話やカーナビなどでも字幕を表示して見ることが可能となりさまざまなシーンで字幕を見ることが出来ます。新聞のテレビ欄等で「字」マークが付いているものが字幕放送の番組です。



在京キー局から生まれる番組の字幕制作を担当。

在京キー局のテレビの音声（ドラマのセリフやナレーション、アナウンスなど）を聞き取り、パソコンのキーボードで入力していきます。生放送番組の「リアルタイム字幕」はテレビ局内で、収録番組の「事前字幕」は社内で制作します。

リアルタイム字幕

生放送のニュースやスポーツなど、事前字幕で制作ができない番組では、放送中の音声を聞きながら同時に字幕の制作を行います。字幕入力者3人が1組となって、リレーのバトンを渡すように文章をつなげながら入力していきます。これをリレー入力といいます。



事前字幕

バラエティー、ドラマ、映画、アニメなど、放送用の映像を事前に受け取り、放送前までに専用の字幕制作機で字幕を作ります。放送まで時間があるため、字幕の色や表示位置、表示時間などを細かく設定し、字幕をより見やすく作り込むことができます。

事前収録番組データ

データ



社内制作ブース

データ



オンエア映像 ※ 字幕配信イメージ

Staff Voice

字幕事業部 マネージャー M.S ● 2005年入社

「子育てから復帰しても働ける環境です！」

産後もまたジマックスで働きたいと思ったのは、やはりこの仕事が好きだったから。さらに、会社の方々のあたたかな雰囲気も復帰を後押ししてくれました。私のほかにもママのスタッフは数人いますが、どんな働き方がベストか、ひとりひとりに合った方法を会社も一緒になって考えてくれるのもありがたいところです。ちなみに私は現在、まだ子供が小さいこともあり9時～15時ぐらいの時短勤務にさせていただいています。

字幕事業部 ディレクター T.E ● 2015年入社

「この仕事の魅力はチーム一丸で取り組めること」

この仕事の魅力はチームが一丸となって作り上げていくことだと思っています。一緒に作り上げていくので、お互いの動きを理解していくことが大切です。チーム内には程よい距離感があり、自分の意見は言いやすく、任せてくれるところは任せてくれながら、しっかり支えてくれている。風通しの良さや面倒見のいい先輩たちのおかげで、安心して仕事に取り組んでいます。字幕を採用するメディアが広がっているなかで重要な役割を担っていく仕事でもあるので、字幕を必要としている方々の期待にしっかりと応えられるように頑張っていきたいです。



ジマックスの採用情報はホームページをご覧ください。
<https://zimax.jp/recruit>

会社概要

会社名	株式会社ジマックス
設立	1997年11月7日
住所	〒107-0052 東京都港区赤坂 6-14-2 赤坂倉橋ビル 1F/2F
連絡先	TEL 03-5545-4652 , FAX03-5545-4653
ホームページ	https://zimax.jp
資本金	1,000万円
代表者	代表取締役社長 茂木 真利子
従業員	69名
事業内容	テレビ番組用の字幕制作, 放送業務人材派遣
主な取引先	株式会社 NHK グローバルメディアサービス, 株式会社テレビ朝日クリエイト, 株式会社フジミック, 株式会社TBSテレビ, 株式会社TBSグロウディア, 株式会社日テレアックスオン

沿革

1997年11月	横浜市にて有限会社ジマックスを設立
2000年03月	TBS系列へ労働者派遣事業を開始
2000年07月	本店を横浜市から東京都港区赤坂に移転
2003年07月	株式会社に組織変更し、資本金を1,000万円に増資
2004年01月	テレビ朝日収録番組字幕制作事業を開始
2005年05月	NHKリアルタイム字幕制作事業を開始
2006年01月	テレビ朝日テイク字幕業務を開始
2006年05月	テレビ朝日系列へ労働者派遣事業を開始
2006年12月	テレビ朝日リアルタイム字幕制作事業を開始
2008年04月	フジテレビリアルタイム字幕事業を開始
2018年09月	NHK収録番組字幕制作事業を開始
2019年10月	日本テレビリアルタイム字幕事業を開始